

# 第一宮 おはやし

ビタミンC

第59号  
平成25年1月1日発行  
新春号



**謹賀新年** 皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

## 一里物語

愛知慈恵会の各施設の周辺にはとにかく「驚き」「感動」「楽しさ」がいっぱい！  
今回も施設スタッフが突撃取材で連載中。

- 第1話 一宮の喫茶文化 モーニング物語（第51号）
- 第2話 安城桜井廻物語（第52号）
- 第3話 創作キルト展「富士に遊ぶ」特集（第53号）
- 第4話 一宮市名物 のこぎり屋根物語（第54号）

- 第5話 白川郷萩町春駒保存会・七福神（第55号）
- 第6話 御母衣ダムと莊川桜物語（第56号）
- 第7話 和泉そうめん物語（第57号）
- 第8話 ふれあい田んぼアート物語（第58号）



## 第59号 目次

- 聖路加国際病院理事長 日野原重明先生101歳 特別講演会 ..... 2
- 全国一宮一里物語（真清田神社特集） ..... 4
- 服部幸應先生記念講演会/萩の里食堂ホール完成/小川の里QC活動/社員研修 ..... 6
- 今昔物語/介護の豆知識 ..... 7

- 季節行事: あいの里・瀬音さくら山荘・萩の里・風の苑マグノリア ..... 8
- 季節行事: 小川の里・大黒恵比須・新和楽荘/童謡のふるさと ..... 9
- 懐かしの昭和キネマ(No.9) ..... 10
- 社員表彰/編集後記 ..... 12

# 101歳現役ドクター 聖路加国際病院 理事長 日野原重明 先生 特別講演会

～与えられたいのちの使い方～



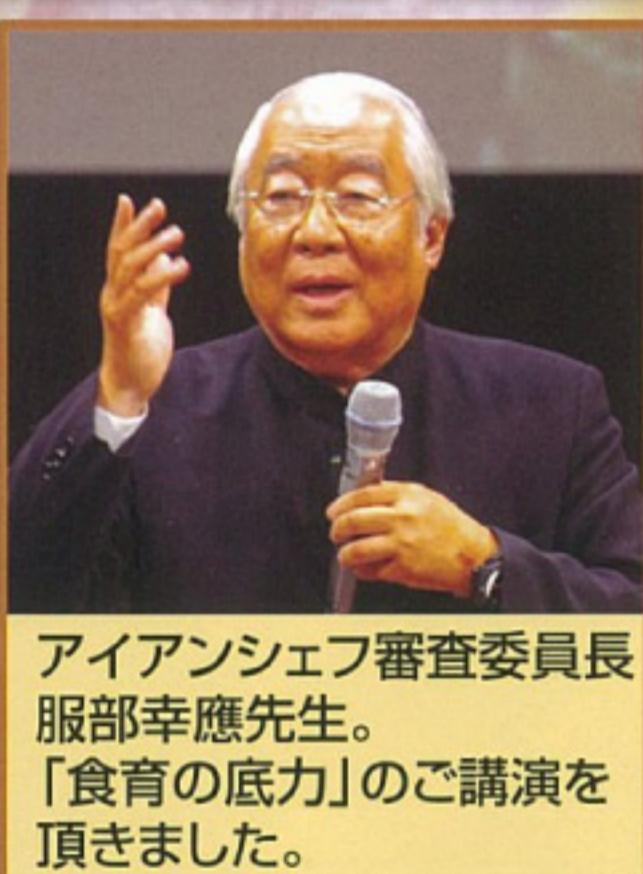
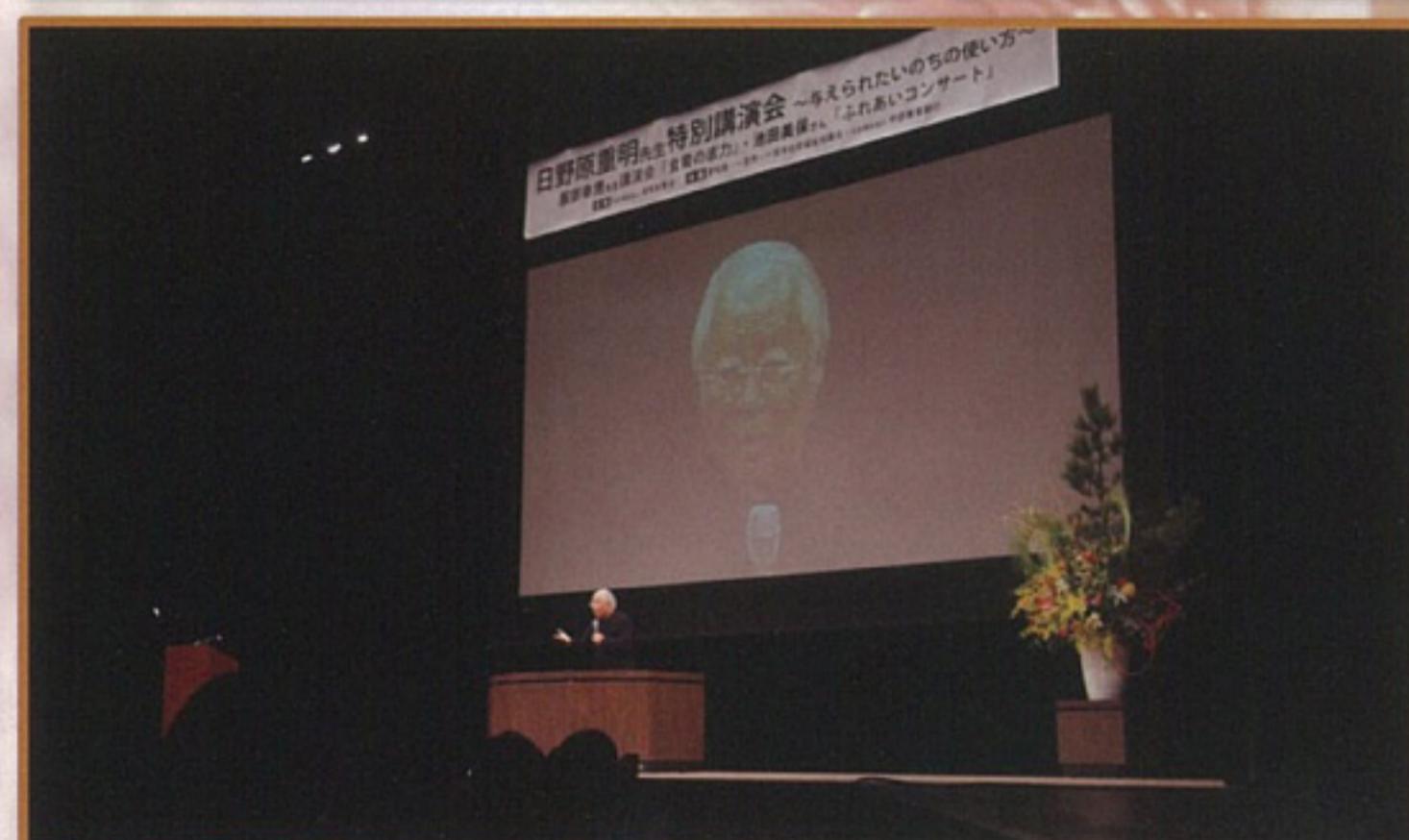
日野原先生指揮による  
“ふるさと”大合唱。



ピアノを演奏される日野原先生。



バースデイケーキのローソクを  
ひと吹きで消されました。



アイアンシェフ審査委員長  
服部幸應先生。  
「食育の底力」のご講演を  
頂きました。



愛知慈恵会  
谷川理事長の挨拶



ラ・カンパニユ  
(オーナーシェフ 佐藤博仁さん 作)



日野原先生、服部先生、  
池田美保さん  
すばらしい講演ありがとうございました。



日野原先生のミュージック  
パートナー声楽家  
池田美保さん 会場圧巻の  
歌とピアノを披露。

## 日野原重明 先生プロフィール(略)

明治44年10月4日生まれ。37年京都帝大医学部卒業。74年聖路加看護大学名誉学長。

現在、聖路加国際病院名誉学長・同理事長、聖路加看護大学名誉学長。  
医師に任せっきりにしない“患者参加の医療”を持論としている。  
また、1973年“生涯を通じて健康に”を掲げた財団法人ライフ・プランニングセンターを創設。

老いてなお成長を目指す“新老人運動”を提唱し、終末期医療の普及、  
医学・看護教育に力を注いでいる。さらに、成人病とよばれていた病気  
について「生活習慣病」という言葉を生み出すなど常に日本医療の先端を走っている。

101歳を迎えた現在も医師としての活躍を続けている。

東京都名誉市民、文化勲章など数多く受賞。

愛知慈恵会 名誉相談役

**夕焼けの歌**

作曲 池田 美保

夕焼け 小焼け  
あした天氣になれ  
三羽の鳥も 夕焼けの  
空に飛んで行つた  
どへ捨てよう  
てるてる坊主

開催日：平成24年12月27日(木) 会場：一宮市民会館

池田美保さんの楽しいコンサート、素晴らしい歌声と軽快な会場とのやりとりは会場全体を温かい雰囲気で包んでいただきました。そして日野原先生との楽しいコラボレーション、ハッピーバースティーは会場全体での盛り上がりとなりました。バースティーケーキは、木曽川町にあるラ・カンパニユのオーナーシェフ佐藤博仁さんが日野原先生の為に作ってくださいました。特大のケーキはデザインも素晴らしい、聖路加国際病院のマークも入っていて、日野原先生もお喜びになつていらっしゃいました。御礼申し上げます。

日野原先生の講演会は皆さん楽しみにされていました通り、先生のお元気な姿、優しい笑顔と張りのあるお声で講演されました。元気であるためには何が必要かを知ることができました。会場いっぱいのご来場者に元気と生きる希望をいただきました。又、本講演会の開催にあたりまして、ご後援として、愛知県、一宮市・宮市社会福祉協議会・社会福祉法人中部善意銀行の各機関の皆様方にご支援をいただきまして、誠に有り難うございました。御礼申し上げます。

安城市での開催の後、一宮市での開催を望む多くの声があり、その期待に応えていただけるような形で今回の講演会が実現・開催されました。

今回の講演会は、第1部が医学博士・料理研究家服部幸應先生の講演会、第2部は日野原先生の特別講演会「与えられたいのちの使い方」で、とても素晴らしい内容の講演会でした。

服部幸應先生には、食育の大切さを先生の楽しいご講演で学ばせていただきました。



1500名の観客でぎっしりと埋め尽くされた会場

平成23年の「安城小川の里開設10周年記念事業」での特別講演会に引き続き、愛知慈恵会の地元一宮市に於いて、「日野原重明先生の特別講演会」を開催することができます。

安城市での開催の後、一宮市での開催を望む多くの声があり、その期待に応えていただけるような形で今回の講演会が実現・開催されました。

今回の講演会は、第1部が医学博士・料理研究家服部幸應先生の講演会、第2部は日野原先生の特別講演会「与えられたいのちの使い方」で、とても素晴らしい内容の講演会でした。

服部幸應先生には、食育の大切さを先生の楽しいご講演で学ばせていただきました。

今回の講演会は、第1部が医学博士・料理研究家服部幸應先生の講演会、第2部は日野原先生の特別講演会「与えられたいのちの使い方」で、とても素晴らしい内容の講演会でした。

服部幸應先生には、食育の大切さを先生の楽しいご講演で学ばせていただきました。

安城市での開催の後、一宮市での開催を望む多くの声があり、その期待に応えていただけるような形で今回の講演会が実現・開催されました。

今回の講演会は、第1部が医学博士・料理研究家服部幸應先生の講演会、第2部は日野原先生の特別講演会「与えられたいのちの使い方」で、とても素晴らしい内容の講演会でした。

服部幸應先生には、食育の大切さ

# 101歳現役ドクター 聖路加国際病院 理事長

## 日野原重明 先生 特別講演会

～与えられたいのちの使い方～



開催日：平成24年12月27日(木) 会場：一宮市民会館

平成23年の「安城小川の里開設10周年記念事業」での特別講演会に引き続き、愛知恵会の地元一宮市に於いて、「日野原重明先生の特別講演会」を開催することができました。

安城市での開催の後、一宮市での開催を望む多くの声があり、その期待に応えていただけるような形で今回の講演会が実現・開催されました。

今回の講演会は、第1部が医学博士・料理研究家服部幸應先生の講演会、第2部は日野原先生の特別講演会「与えられたいのちの使い方」で、とても素晴らしい内容の講演会でした。

服部幸應先生には、食育の大切さを先生の楽しいご講演で学ばせていただきました。

池田美保さんの楽しいコンサート、素晴らしい歌声と軽快な会場とのやりとりは会場全体を温かい雰囲気で包んでいただきました。そして日野原先生との楽しいコラボレーション、ハッピーハッピーステーは会場全体での盛り上がりとなりました。バースデーケーキは、木曽川町にあるラ・カンパニーのオーナーシェフ佐藤博仁さんが日野原先生の為に作ってくださいました。特大のケーキはデザインも素晴らしい、聖路加国際病院のマークも入っていて、日野原先生もお喜びになつていらっしゃいました。

日野原先生の講演会は皆さん楽しみにされていました通り、先生のお元気な姿、優しい笑顔と張りのあるお声で講演されました。元気であるためには何が必要かを知ることができました。会場いっぱいのご来場者に元気と生きる希望をいただきました。又、本講演会の開催にあたりまして、ご後援として、愛知県・一宮市・一宮市社会福祉協議会・社会福祉法人中部善意銀行の各機関の皆様方にご支援をいただきまして、誠に有り難うございました。御礼申し上げます。



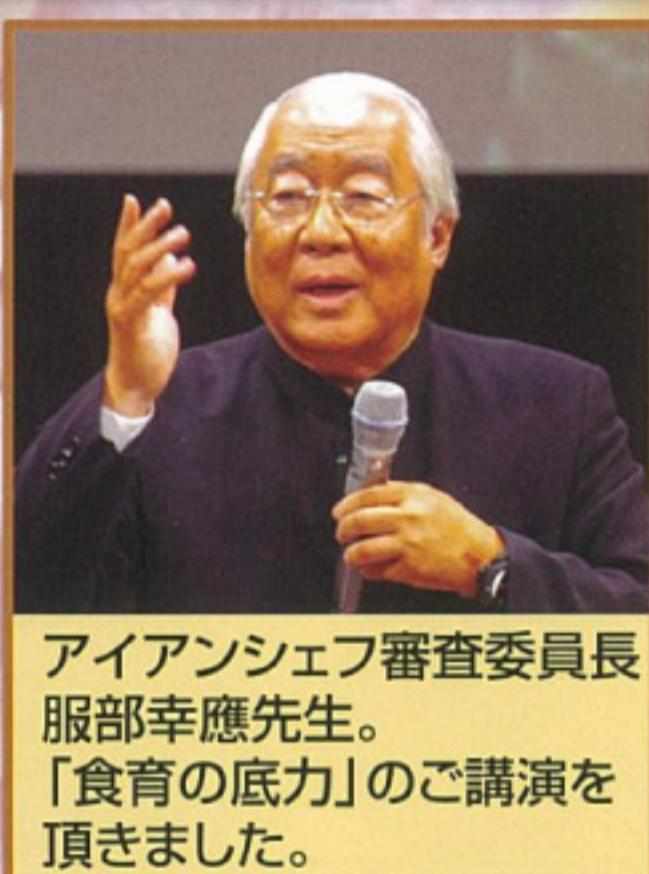
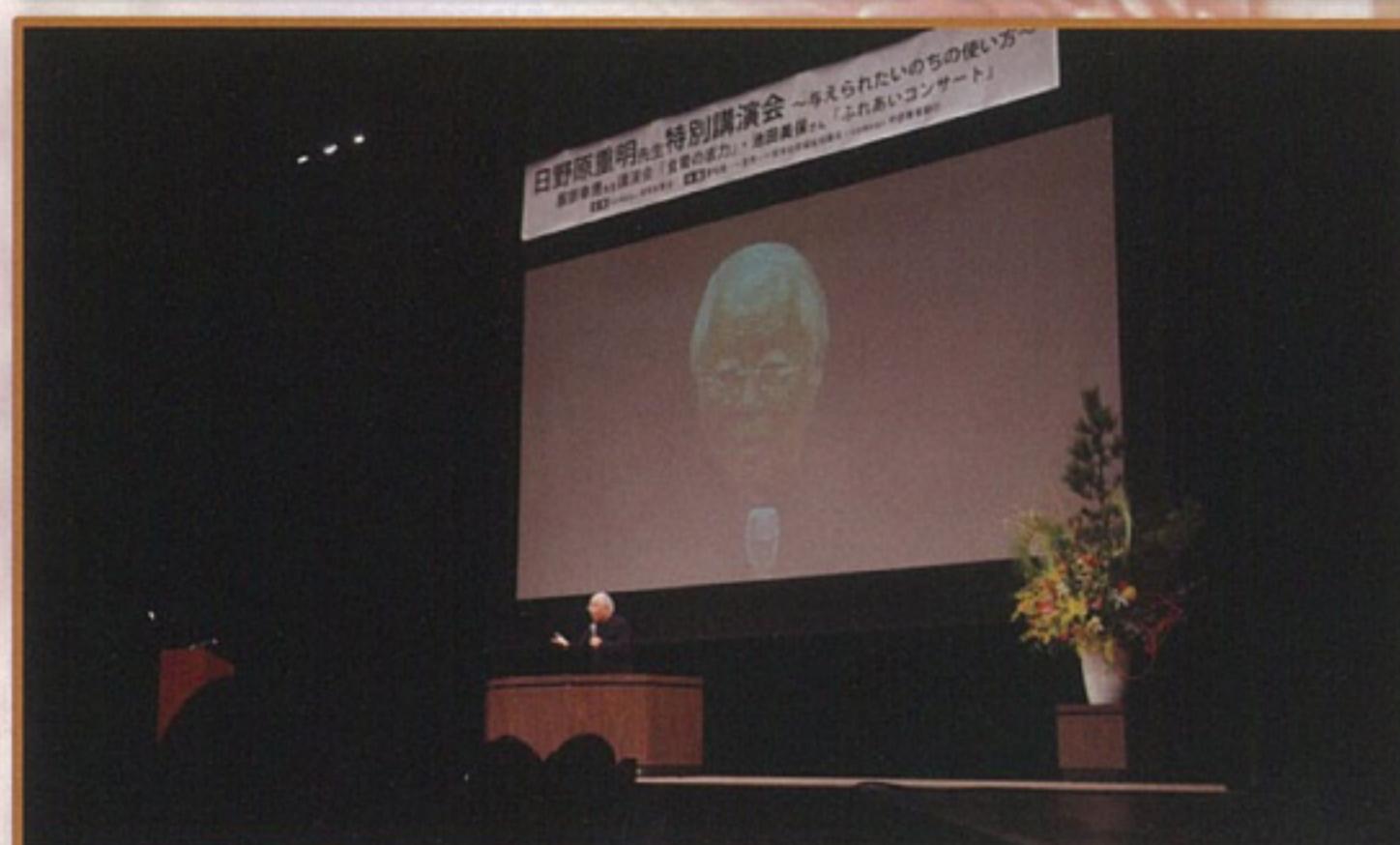
日野原先生指揮による  
“ふるさと”大合唱。



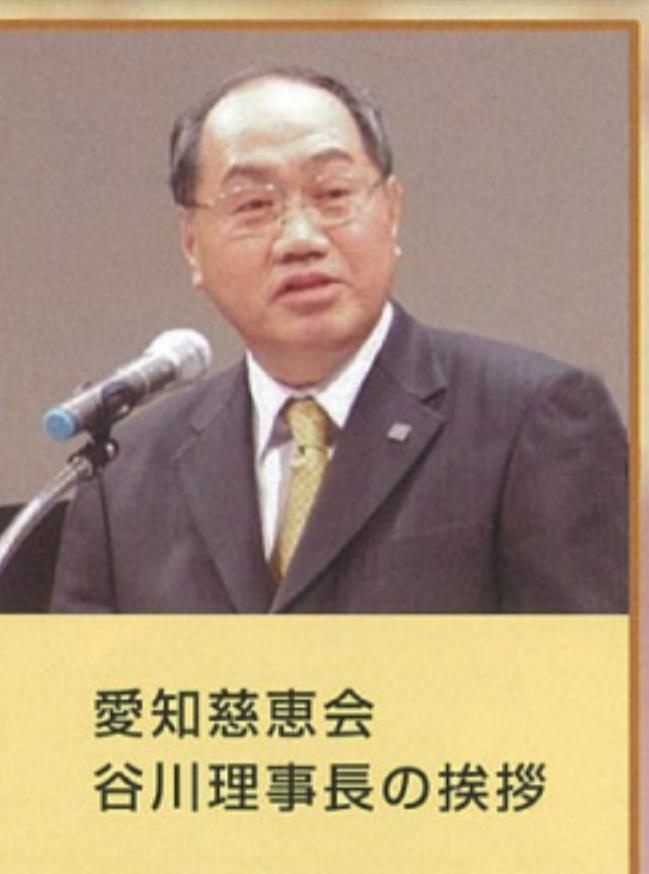
ピアノを演奏される日野原先生。



バースデーケーキのローソクを  
ひと吹きで消されました。



アイアンシェフ審査委員長  
服部幸應先生。  
「食育の底力」のご講演を  
頂きました。



愛知慈恵会  
谷川理事長の挨拶



ラ・カンパニー  
(オーナーシェフ 佐藤博仁さん 作)



日野原先生、服部先生、  
池田美保さん  
すばらしい講演ありがとうございました。



日野原先生のミュージック  
パートナー声楽家  
池田美保さん 会場圧巻の  
歌とピアノを披露。

### 日野原重明 先生プロフィール(略)

明治44年10月4日生まれ。37年京都帝大医学部卒業。74年聖路加看護大学名誉学長。

現在、聖路加国際病院名誉学長・同理事長、聖路加看護大学名誉学長。医師に任せっきりにしない“患者参加の医療”を持論としている。

また、1973年“生涯を通じて健康に”を掲げた財団法人ライフ・プランニングセンターを創設。

老いてなお成長を目指す“新老人運動”を提唱し、終末期医療の普及、医学・看護教育に力を注いでいる。さらに、成人病とよばれていた病気について「生活習慣病」という言葉を生み出すなど常に日本医療の先端を走っている。

101歳を迎えた現在も医師としての活動を続けている。

東京都名誉市民、文化勳章など数多く受賞。

愛知慈恵会 名誉相談役

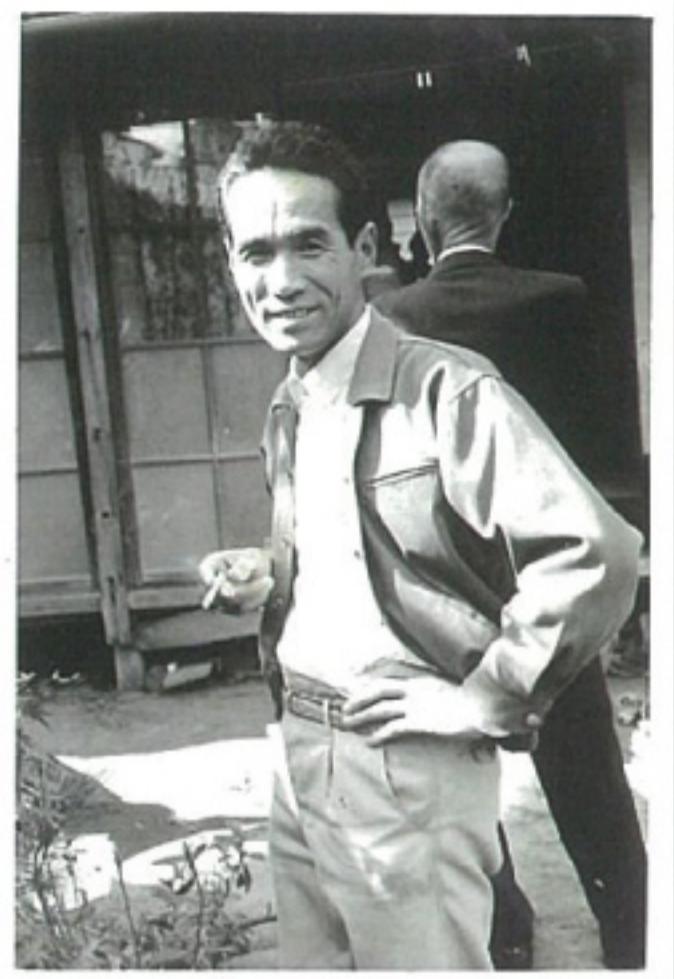
**夕焼けの歌**

作曲 池田  
作詞 日野原  
美保 重明

夕焼け 小焼け	あした天氣になれ	三羽の鳥も 夕焼けの
夕焼け あした天氣になれ	いらなくなつた	空に飛んで行つた
てるてる坊主 どへ捨てよう		



1500名の観客でぎっしりと埋め尽くされた会場



今回ご紹介させていただく鈴木廣義さんは、田苑春風のムードメーカーでとても素敵なお父様です。

大正5年5月15日愛知県西尾市米津町で生まれ、現在96歳になられます。小学4年生のころ、お母様が“手に職をつけさせたい”と思い、東京へ家具職人の修業に出されたそうです。5人兄弟の4番目でとてもしっかりされていたそうですが、恋しさのあまり、2度ほど東京から戻ってきてしまわれたこともあったそうです。

廣義さん23歳の時、4歳年下の奥様と大恋愛。『彼女と一緒にしなれなかったら死ぬ』とご両親に訴え、念願かなって結婚。4人の娘様も授かり、幸せな日々を過ごされたそうです。

そんななか、戦争により廣義さんはフィリピンへ。終戦をむかえ、無事に米津に戻られたのですが、お母様がすでに他界されていたと知り、ショックのあまりしばらくふさぎこんでいたとご家族様よりお伺いしました。

職人気質ですが、とてもお話好きで、戦争の話を伺うと、切れ目がないほどお話して下さいます。また、奥様の話も『えへへ…』と照れ笑いをされながらも嬉しそうに教えてくださいます。

計算問題が得意で、そろばんの扱いもプロ級。96歳とは思えず、頭が下がる思いです。

笑顔も素敵で皆から愛される廣義さん。いつまでも幸せをくださる廣義さんであってほしいです。



## 第三回 介護の豆知識

KAIGO no MAME chishiki

### 「高齢者のイスの適切な選び方について」編

高齢になったおとうさん、おかあさんやおじいさん、おばあさんへ、自宅でゆったり過ごすためにイスをプレゼントされる方も多いと思います。

デザインや座り心地も重要ですが、立ち座りの動作ができるかどうかが高齢者のイス選びには重要となってきます。

#### イス選びのポイント

##### ①安定性

倒れたりしない安定性も重要ですが、高齢者は立ち座りの際にイスにつかまり支えとなる場合が多いので、キャスターがついている、座面が回転するタイプでは、イスが勝手に動いてしまい、ぶらついたら転倒する危険があります。また、カフカフなソファータイプは座っているときは心地よいですが、身体が沈みこんでしまい立ち座りが大変になりますので注意してください。

##### ②座面の高さ

座ったときに足を床について、膝が丁度90度に曲がる位の高さが適当です。それより低すぎると立つときにふんばる力が余計に必要になり大変です。逆に、高すぎると座ったときに足が浮いてしまい不安定になりますので注意してください。

##### ③足元に空間があるか

人は立つときには、座っている足元の位置より少し自然に足を引いてから立ち上がります。足元に足を少し引くのに十分な空間があることが必要です。



##### ④肘掛

座位の安定のため肘掛けは必要です。高齢者は立ち上がる際、肘掛けにつかまりながら立ちあがります。肘掛けはイスの前面まであるものの方が、立ち上がる最後まで力をかけやすく安定します。



第19回

## 今昔物語



鈴木廣義さんにお話を伺いました。

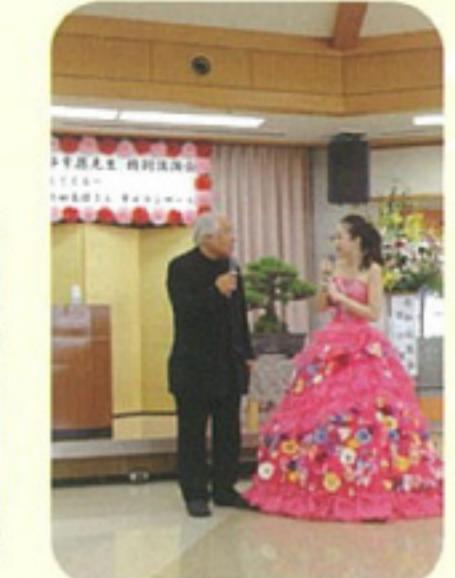
ここでは、「今昔物語」と題しまして、ご利用者の歩まれたさまざまな人生にスポットを当て、若かりし頃の思い出や、現在の生活を語っていただきます。

今日は田苑春風のご利用者、

## 服部学園理事長・医学博士/健康大使 服部幸應先生 故郷の里食堂ホール完成記念講演会

10月7日服部幸應先生による「記念講演会」が開かれました。服部先生の講演では食育をテーマに食と健康のつながりを通して、家族が食卓を囲むことの大切さなど、先生の体験を交えながらご講演いただきました。とても分かりやすく、参加者も共感を得られるお話ばかりであつという間の1時間でした。

また、声楽家池田美保さんのコンサートも同時開催され、素晴らしい歌とピアノ演奏を聴き、また参加者全員での合唱もあり、会場が笑顔と感動で一体となりました。



## 故郷の里 食堂ホール完成

この度、一宮市故郷の里特別養護老人ホームにおきまして、念願でありました、特養棟の「談話室」を「食堂ホール」へと移行する増築工事(1F~3F)が完了いたしました。

今まで、特養棟4フロアのご利用者をエレベーターで1階まで誘導し、そこからさらに食堂ホールまで移動しての食事提供であった為、食事開始まで時間を要しておりました。その為、ご利用者や介護スタッフへの負担は大変大きくなっています。この度の工事では、それらを解消し、各フロアで快適にゆったりとお食事をいただける空間提供の為に行なったものであります。

今後は、この明るい雰囲気の中で、ご利用者はゆったりと食事の時間を満喫していただけることと思います。

工事にあたり、ご支援いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

一宮市故郷の里特別養護老人ホーム施設長 中島誠



## 小川の里 QC活動

デイサービスセンター小川の里のQC活動チーム「カンカンと愉快な仲間たち」として11月21・22日に東京で行われた「福祉QC全国大会」でテーマ『サービス事故を減らす!』を発表し奨励賞を受賞することができました。さすがに各県の代表とあって目を見張るようなレベルの高い発表内容でした。

この一年間施設長はじめQC講師の岡田愛家先生や他部署のみなさんのご指導、ご協力のもと、テーマに対する活動を実施し素晴らしい成果を上げることができました。また事業所内のチームワークも向上しスタッフのケアに対する意識も変わりました。

この機会で学んだことを今後の日常業務に活かしていきたいと思います。



## 社員研修

平成24年9月から11月にかけて、北海道に2泊3日の社員研修を7回にわたって行いました。介護サービスに携わる者として、より高い意識の向上をはかるため、『小樽海陽亭』や『ザ・ウインザーホテル洞爺』へ行き、本物のサービスに触ることで、おもてなしの原点を学ぶ事ができました。また、小樽運河の散策や昭和新山の見学等を通して現地の歴史や文化に触れながら施設間のスタッフ同士で沢山の情報交換や交流をはかる事ができました。



## 小川の里

### 力を合わせた作品展とお寿司を食べる喜び

11月4日に小川の里で秋祭りを開催しました。ファミリーとスタッフが作った作品を会議室に展示し、お客様に見てもらいました。「スタッフが小さかった頃どのような子供だったか?」をテーマに、色紙に幼いころの写真を貼りました。「とても可愛かったね。」などと、嬉しいお言葉を頂きました。

また、昼食のお寿司を笑顔でほおばっておられ、とても思い出深い秋の1日となりました。



## 大黒・恵比須

### コスモス祭り

10月には、町内のコスモス畑が、鮮やかなピンクの絨毯を広げた様に綺麗に咲きます。毎年、ご利用者とこのコスモス畑を散歩するのが楽しみのひとつとなっています。

今年は、曇り空で、しかもコスモスが七分咲き頃の散歩でしたが、ご利用者と元気なスタッフで、思い出の写真になりました。

心は、晴天!! 心は、満開!! 写真からも、笑い声が聞こえてきませんか!!



## あいふるの里

### 笑顔いっぱいの ~オープンカフェ~

11月4日季節行事のひとつオープンカフェを開催しました。

季節の花々を飾りファミリーとご家族を招いて温かい飲み物や色々なお菓子を召し上がって頂きました。いつもとは違う場所・違う雰囲気の中で、ひと時の時間を楽しんでいただきました。家族の方と団欒されている光景は、いつもとは違う表情や笑顔に溢れていました。



## 新和楽荘

### 懐かしのレコードを聞くことが出来ました!!

11月3日に新和楽荘にて文化祭を行いました。今回は、かつて大手レコード会社に勤務し、以前から交流のあった佐藤史門さんが来荘され、昔懐かしのレコードコンサート、レコードジャケット展示会を開きました。流れてくる曲に合わせて手拍子される方、昔を思い出し涙ぐむ方、皆さん思いはそれぞれでしたが最後には笑顔で終える事が出来ました。

その他にも詩吟クラブのファミリーによる発表会や、ファミリーが作られた作品の展示も行い、皆さん大いに盛り上がった文化祭になりました。



## 萩の里

### ~文化祭~

11月3日に萩の里では文化祭を行いました。今年度は開所以来初の試みとして、ファミリーの皆さんにお好きなものをお好きなだけ召し上がっていただく、ビュッフェ形式での昼食を提供させていただきました。普段とは違った雰囲気でのお食事に、皆さん生き生きとした表情で、お好きなものを選ばれ、美味しいに召し上がられました。また、普段少食な方がたくさん召し上がって下さるなど、お食事を選ぶことの楽しさを感じただけたのではないかと思います。この試みを通して、ファミリーの皆様のいつも以上の笑顔を見せていただき、私達スタッフにとっても、とても楽しい文化祭となりました。



## 風の苑 マグノリア

### 保育園児さんとのふれあい交流会に参加しました!

10月30日秋晴れの中、平成24年度独居高齢者ふれあい交流会が開催されました。参加されたファミリーは今伊勢中保育園児の皆さんによる歌や演技にあわせて歌を口ずさんだり、園児さんから肩たたきをしていただくななど楽しくふれあいました。また、グーパ一体操や後出しじゃんけん、ボール運びゲームと一緒に楽しみました。普段の笑顔とは違った柔軟な表情がたくさん見られ、皆さん終始ご機嫌な様子でした。



**早春賦 童謡のふるさと**

詞／吉丸昌 曲／中田章 シリーズ 第四回

一  
春は名のみの 風の寒さや  
谷の鶯 歌は思えど  
今日もきのうも 雪の空  
時があらずと 声も立てず  
時あざすと 声も立てず

二  
氷解けて去り 草の角ぐす  
され時ぞと 思うあやにく  
今日もきのうも 雪の空  
時あらすと 声も立てず  
時あざすと 声も立てず

三  
春と聞かねば 知らずありしと  
聞けば急かるる 胸の思いを  
いかにせよとの この頃か  
いかにせよとの この頃か

作詞の吉丸昌は、東京音楽学校現・東京芸術大学の教授時代、夏期講習の講師として、しばしば南安曇野に滞在した。この歌は、旧穂高町の雪解け風景を取材して描いたものとされています。

新春特別 第7弾

# 紅白歌合戦



つるたこうじ  
鶴田浩二

1924年(大正13年)–1987年(昭和62年) (62歳没)

22歳の時に薬の副作用で、左耳が難聴になってしまった。「地獄の血闘」に出演した際、共演した歌手の田端義夫に、歌唱方法のアドバイスを受け、左耳に左手を沿えて歌う独特の歌唱スタイルとなつた。その他、右手小指を立てマイクを白いハンケチで包む歌唱スタイルも有名。



こまどり姉妹

1938年(昭和13年)2月16日–現在74歳

北海道厚岸郡厚岸町で双子として生まれる。「演歌版サ・ビーナツ」として多数の映画・TVにも出演。紅白歌合戦は7年連続出場。

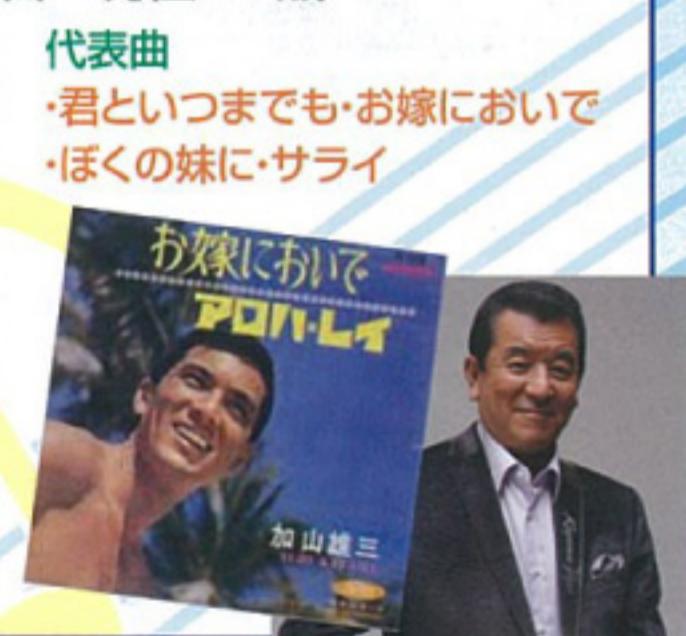
代表曲  
・浅草姉妹・ソーラン渡り鳥  
・石狩川



かやまゆうぞう  
加山雄三

1937年(昭和12年)4月11日–現在75歳

お手伝いさんは必ず2人はいたと言ふ。加山は慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、東宝へ入社、「男対男」で映画デビュー。「夜の太陽」で歌手デビュー。NHK紅白歌合戦出場17回。フォークソングやニューミュージック全盛時代に先立つ、日本におけるシンガーソングライターの草分け的存在である。サラは24時間TVのエンディング曲として定着。

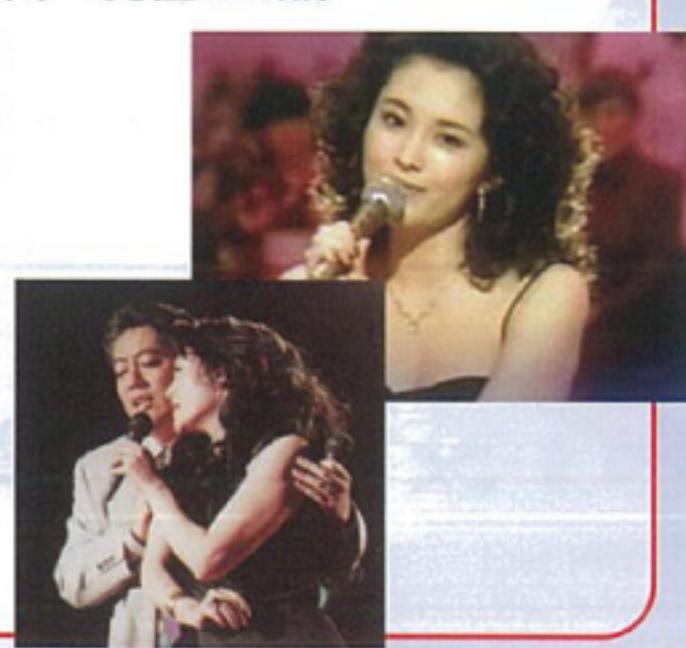


まつざかけいこ  
松坂慶子

1952年(昭和27年)7月20日–現在60歳

「事件」で初ヌードも披露し、清純派からの脱皮を果たす。体当たりの演技でトップ女優に躍り出た。テレビドラマでも、テーマソング『愛の水中花』を歌うとともに、妖艶なバニーガール姿を披露する。

代表曲  
・愛の水中花・夜明けのタンゴ  
・まごころよりどころ



新春特別 第7弾

鳴呼へ憶かひの時代幸ま

# 歌う銀幕スター



たかみねみえこ  
高峰三枝子

1918年(大正7年)–1990年(平成2年) (71歳没)

大船映画「母を尋ねて」で女優デビュー。理知的で気品のある美貌はたちまち人気を集め、音楽映画『純情二重奏』で霧島昇と歌った主題歌が大ヒットすると、歌う映画女優としての地位を確立した。

代表曲  
・南の花嫁さん・湖畔の宿  
・別れのタンゴ



たかだこうきち  
高田浩吉

1911年(明治44年)–1998年(平成10年) (86歳没)

「歌う映画スター」第1号と言われる。高田浩吉劇団の弟子には戦後の歌う映画スター鶴田浩二がいた。昭和40年代の懐メロブームでは「なつかしの歌声」などの番組に常連出演し、その美声を披露した。

代表曲  
・大江戸出世小唄・伊豆の佐太郎  
・白鷺三味線・名月佐太郎笠



みそら  
美空ひばり

1937年(昭和12年)–1989年(平成元年) (52歳没)

女性として初の国民栄誉賞を受賞した。愛称は御嬢(おじょう)。「悲しき口笛」のシルクハットに燕尾服で歌う小さい時のひばりを代表するものとしてよく取り上げられる。

代表曲  
・柔・川の流れのように  
・真っ赤な太陽・東京キッド



ふなきかずお  
舟木一夫

1944年(昭和19年)12月12日–現在68歳

愛知県一宮市出身で、橋幸夫、西郷輝彦とともに「御三家」と呼ばれる。学生服と八重歯がトレードマークで、学園ソングとよばれる。高校生活をテーマにした歌が多く、中日ドラゴンズの応援歌「燃えよドラゴンズ!99」を歌い(舟木自身も大のドラゴンズファンである)、25年ぶりにオリコン40位ランクインを記録。



やまぐちももえ  
山口百恵

1959年(昭和34年)1月17日–現在53歳

オーディション番組「スター誕生!」で準優勝、20社から指名を受ける。映画「としごろ」に出演し、同名の曲で歌手としてもデビュー。森昌子・桜田淳子と共に花の中三トリオと呼ばれた。キャッチコピーは「大きなソニー、大きな新人」。

代表曲  
・としごろ・ひと夏の経験  
・横須賀ストーリー・いい日旅立ち



こばやしあきら  
小林旭

1938年(昭和13年)11月3日–現在74歳

明治大学文学部中退後、映画「飢える魂」でデビュー。CMソング、コミックソングから演歌まで幅広く歌う。独特的の歌唱で歌いこなす姿から、総称して「アキラ節」と呼ばれる。

代表曲  
・熱き心に・赤いトラクター(CM)  
・昔の名前で出ています



よしながさゆり  
吉永小百合

1945年(昭和20年)3月13日–現在67歳

『寒い朝』でレコードデビューし20万枚のヒット。橋幸夫とのデュエットで30万枚の大ヒットとなった「いつでも夢を」で第4回日本レコード大賞受賞。ファンは、サユリストと呼称され、有名人のファンではタモリ、綾路きみまろらが有名である。

代表曲  
・いつでも夢を・ねむの木の子守歌  
・伊豆の踊子



さとみこうたろう  
里見浩太朗

1936年(昭和11年)11月28日–現在76歳

NHKのど自慢に出場し合格した事もあり、高校卒業後上京し、築地の魚市場の経理係をしながら歌手を目指した。魚の捌き方などは築地仕込みで、「愛のエプロン」の特番で腕前を披露していた。

代表曲  
・花冷え・雨の長崎  
・愛の行方・昭和生まれの風来坊



いしはらゆうじろう  
石原裕次郎

1934年(昭和9年)–1987年(昭和62年) (52歳没)

兄・慎太郎の芥川賞受賞作「太陽の季節」の映画化により端役で映画デビュー。紅白歌合戦に雪村いづみの応援ゲストとして出演したことはあるが、歌手としては生涯出場しなかった。歌は素人という理由で出場を辞退していたといわれている。宝酒造日本酒「松竹梅」の文字は彼の手によるものである。



さつき  
五月みどり

1939年(昭和14年)10月21日–現在73歳

それまでの歌手にはなかったチャーミングな美貌と、きれいなちりめんビブートを生かした歌声で大人気となる。40歳を過ぎても日活ロマンポルノ作品に主演し、世に衝撃を与えた。熟女ヌードのさきがけとも言える。

代表曲  
・お座敷ロック・おひまなら来てね  
・コロッケの唄



すぎりょうたろう  
杉良太郎

1944年(昭和19年)8月14日–現在68歳

歌唱力・端麗な風貌と暖かみのある人柄から、中高年女性層を中心に「杉様」の愛称で非常に根強い人気。ディナーショーは常に満員になる盛況ぶりである。しかし、幼少時より歌手を志し各地の喫茶店で出場し続けたが、なかなか評価を受けなかった。日本とベトナムとの親善にも20年間たずさわっている。



あさおか  
浅丘ルリ子

1940年(昭和15年)7月2日–現在72歳

日本映画全盛期に一世を風靡した日活アクション映画における代表的なヒロイン。「男はつらいよシリーズ」でのリリー役ではマドンナとしてシリーズ最多の4回の出演している。

代表曲  
・愛の化石・夕陽の丘  
・東京さすらい歌



平成24年度

## 第9回多年勤続表彰

下記のスタッフの方々が受賞されました。多年勤続おめでとうございます。これまでの経験を生かし、更なるご活躍なされますことを祈念いたします。(65名、敬称略)

あいふるの里	20年	ランドリー	本戸 里枝	萩の里	10年	在宅サービス	森 浩章	小川の里	10年	特養	藤田 まり
	15年	調理	松原 幹易		10年	デイサービス	福井 みどり		10年	デイサービス	廣田 律子
	15年	調理	村田 美津代		5年	環境	岡部 明美		10年	訪問介護	鈴木 絵美子
	10年	総務	野田 ひろみ		5年	特養	犬飼 洋		10年	訪問介護	村上 八重子
	10年	配食サービス	青山 英美		5年	特養	森 薫		10年	訪問介護	都築 和代
	10年	配食サービス	片桐 かおり		5年	デイサービス	栗本 清		10年	居宅介護支援	井上 貴子
	10年	配食サービス	田口 明子		5年	包括支援センター	小林 孝充		10年	居宅介護支援	小塚 秀子
	10年	特養	田内 宏治		5年	包括支援センター	森山 裕子		10年	ケアハウス	浦上 幸江
	10年	特養	水野 雅司	風の苑マグノリア	10年	施設長	岩井 宏之		10年	田苑春風	谷口 千春
	10年	ショートステイ	徳吉 延子		10年	看護	五十住由美		10年	大黒・恵比須	鈴木 美津江
	10年	訪問介護	福田 明美		10年	特養	早川 泰弘		5年	総務	永谷 典久
	10年	居宅介護支援	朝倉 節子		5年	特養	平松 美穂		5年	特養	酒井 恵美子
	5年	調理	達 美津子		10年	ケアハウス施設長	大澤 和代		5年	特養	竹内 恵理香
	5年	特養	小島 加奈代	小川の里	10年	総務	姫野 多真美		5年	特養	谷口 智子
	5年	特養	西村 沙織		10年	環境	加藤 晓美		5年	特養	増田 樹里
	5年	デイサービス	池田 美子		10年	ランドリー	川澄 すみ子		5年	ショートステイ	平野 由梨
	5年	訪問入浴	栗本 規代実		10年	ランドリー	杉浦 幸子		5年	田苑春風	野田 大介
	5年	特養	長田 範央		10年	ランドリー	杉浦 裕美子	新和楽荘	20年	介護	水谷 末子
萩の里	10年	特養	家田 明久		10年	ランドリー	野口 久美子		10年	総務	森 祥恵
	10年	特養	宇佐見有紀		10年	ドライバー	大中 勉		10年	調理	松井 章浩
	10年	特養	加藤 由美		10年	ドライバー	近藤 憲治		5年	介護	吉宗 寿子
	10年	特養	服部 景樹		10年	看護	長山 典子				

平成24年度

## 第9回社員表彰(ブルーリボン賞)

下記のスタッフの方々が受賞されました。今後ますますご健勝で、後進の指導にご尽力されますよう祈念いたします。(45名、敬称略)

あいふるの里	最優秀社員賞	調理	岩田 文子	瀬音さくら山荘	雉代賞	特養	坂本 早央莉	新和楽荘	里程賞	特養	吉田 真由美
	業務善行賞	訪問介護	岩越 圭代子		新人賞	看護	川田 浩子		新人賞	調理	木野 美津江
	特別功労賞	デイサービス	梶浦 孝之		新人賞	特養	新谷 純		敢闘賞	特養	南 千秋
	業務改善・発明賞	総務	山口 進也		新人賞	特養	桑山 哲也		雉代賞	特養	山内 久光
	業務改善・発明賞	デイサービス	多田 茂幸		新人賞	特養	下山 勝己		新人賞	特養	鈴木 杏奈
	敢闘賞	調理	秋元 大樹		最優秀社員賞	特養	川島 昌樹		敢闘賞	デイサービス	坂井 博美
	敢闘賞	特養	戸松 里江		業務善行賞	包括支援センター	久保田明希		敢闘賞	デイサービス	柏野 透
	不撓不屈賞	特養	平岡 美喜子		特別功労賞	看護	山岡 輝子		業務善行賞	総務	細尾 直美
	雉代賞	デイサービス	岡崎 さとみ		特別功労賞	宿直	長谷川正美		特別功労賞	生活支援ハウス	平田 ちず子
	雉代賞	居宅介護支援	久野 典絵		特別功労賞	宿直	前田 昇		特別功労賞	宿直	中村 泰彦
萩の里	里程賞	特養	清水 明美		業務改善・発明賞	総務	鈴木 英二		特別功労賞	宿直	長谷川 仁
	里程賞	デイサービス	岩田 充弘		敢闘賞	特養	神田 和也		敢闘賞	生活相談員	福井 健人
	新人賞	看護	小濱 宏美		敢闘賞	訪問介護	伊藤 ひとみ		敢闘賞	生活相談員	八木 則和
	新人賞	特養	柴田 秀美		不撓不屈賞	調理	木村 美里		雉代賞	調理	山藤 佳子
	瀬音さくら山荘	雉代賞	調理		雉代賞	田苑そよ風	佐藤 るみ		新人賞	介護	村中 美貴

## 編集後記

今回は、全国一ノ宮一里物語として、真清田神社さんに取材に伺いました。取材の中で、地元一宮に住んでいる人でも、真清田神社の歴史や、一ノ宮という地名や由来について意外と知らない現実がある事を知りました。記事を通じて、「真清田神社に行こう!」と思って下さる方が少しでも増えれば地元一宮市民としてはうれしく思います。

今回の取材に快く応じていただき、記事監修までしていただいた辰宮司様をはじめ、総務部、並びに関係の皆様の方々に深く感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

謹賀新年。皆様にとって素敵な年となりますように。

祭ばやし59号 編集長K.S



あいがいっぱい 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸字余陸寺45-1 TEL.0586-78-8441 FAX.0586-78-8485	横丁のデイサービスセンター 座・柿ノ木 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸字小山65-1 TEL.0586-78-2171 FAX.0586-78-2172	ライフガーデン 萩の里 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原36-1 TEL.0586-68-7311 FAX.0586-68-5826	風の苑 マグノリア 〒491-0051 一宮市今伊勢町馬寄字東瀬古55-1 TEL.0586-47-6811 FAX.0586-47-6812	雅び・遊び・喜び 田苑そよ風 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1 TEL.0586-67-2611 FAX.0586-68-5799	ひだまりの詩 新和楽荘 〒491-0363 一宮市萩原町東宮重字蓮原24-1 TEL.0586-67-2311 FAX.0586-68-7337
こはるびより 安城 〒444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL.0566-73-7011 FAX.0566-73-7010	春のかほり 田苑春風 〒444-1162 安城市小川町三ツ塚1-1 TEL.0566-99-6514 FAX.0566-99-6524	あかねぞら 大黒・恵比須 〒444-1213 安城市東端町山ノ神115-1 TEL.0566-48-8111 FAX.0566-48-8110	白川郷 日本一小さな特養 瀬音 さくら山荘 〒501-5503 岐阜県大野郡白川村長瀬字小保木755-1 TEL.05769-5-2141 FAX.05769-5-2170	大白川温泉デイサービスセンター しゃくなげ荘 〒501-5506 岐阜県大野郡白川村御母衣316-22 TEL.05769-5-2217 FAX.05769-5-2269	SINCE1989 法人本部事務所 〒491-0115 一宮市浅井町西海戸字余陸寺45-1 TEL.0586-78-8438 FAX.0586-78-6135